

# 素敵な助産師さん、見~つけた!



皆様、こんにちは。新居裕子さんからバトンを託されました前川里美です。

新居さんとは、私が2011年に香川県で再就職した香川大学医学部附属病院で、同期として出会いました。おばちゃんの私に、いつも優しい笑顔で向き合ってくれた新居さんです♡

私は大阪赤十字助産師学校を卒業後、大阪で臨床経験約10年、助産専門学校での教育経験が9年ほどで香川に戻ってきました。そうです。私は『さめきっ子』です。人生の約1/3を大阪で過ごしましたが、ボケもツッコミもできない堅物な私です。

香川に戻ったのは、“リーチャード・ギア似の夫”(欲目です…)が小脳出血で植物状態となり、3歳の息子の子育てを姉が支援すると言ってくれたからです。そして夫は、2015年に自由になれました。今は、中学生になった息子と黒豆柴(メス)と、泣いて・笑って・喧嘩して。時間に追われながら仕事に苦手な家事に、思春期の息子の子育てに四苦八苦の毎日です。

助産師としては2017年に香川大学医学部附属病院を退職し、県立保健医療大学助産学専攻科の実習指導助手・看護協会のいのちの先生・こんにちは赤ちゃん訪問・香川西高等学校衛生看護専攻科の非常勤講師、9月から香川大学医学部看護学科の母性看護学教務補佐員をしています。ご縁があって私を必要としてくださる事に、できる範囲で頑張らせて頂いている現状です。また2018年に訪問専門助産院・つなぐ『真(まな)』を開業しました。ですが、開業助産師として私が取り組みたい事・私の価値観・信念・使命など、想いばかりがいっぱいで、全く行動にならず…。分かっていることは、一人では限界があること。協働できる仲間が大切なこと。ぜひ、あなたの想い(助産観)を聞かせてください! どうぞよろしくお願い致します。



豆柴ちゃん



## 今年度の行事予定

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、急に変更する可能性があります。変更時は「とらうべ通信」及びホームページに掲載します。

日時	研修会・行事	場所
令和2年12月5日(土) 12:30~18:30	香川母性衛生学会学術集会 「地域医療における新しい新しい助産師活動の創生」	香川大学 医学部臨床講義棟2階
令和3年1月24日(日) 9:30~12:30	「新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコース」※1 香川県立保健医療大学准教授 竹内美由紀 高松赤十字病院助産師 熊野明江	香川大学医学部附属病院 地域医療教育支援センター (スキルラボラトリー)
令和3年2月14日(日) 10:00~12:00	「災害時の助産師が行う乳幼児支援」※2 高松赤十字病院助産師 熊野明江	岡田コミュニティセンター

### ◎参加の申し込みについて

すこやか助産師センター事務所へ、電話またはFAXで申し込みをしてください。

TEL:087-844-4131 FAX:087-844-4130

電話受付時間:月~金曜日 10:00~16:00

※1「新生児蘇生法(NCPR)スキルアップコース」について

会員・非会員ともに申込期限は令和2年12月4日(金)16:00までです。ただし期限内であっても募集定員(18名)に達した場合はその時点で募集を終了します。申込時は認定番号、有効期限、所属施設、携帯番号を必ずお伝えください。

※2「災害時の助産師が行う乳幼児支援」について

募集定員30名程度です。10:00~11:00講義・実技、11:00~12:00グループワークの予定です。

☆コロナウイルス感染拡大防止のため、体調のすぐれないときは参加を控えてください。また参加される方はマスク着用のご協力をお願いいたします。

# とらうべ通信

2020.12月号  
No.95

発行所:(社)香川県助産師会 高松市春日町1176

発行責任者:宮本 政子

☎:087-844-4131

FAX:087-844-4130

## 会長挨拶

会長 宮本 政子

香川県助産師会の会員の皆様、いつも香川の母子保健に貢献していただきありがとうございます。令和2年もあっという間に終盤をむかえ、歳とともに時間の流れに追いつかない様な毎日です。新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)は専門家の予想通り第3波を迎えたようで終息は遠い夢のように感じます。「アメリカでワクチン開発が成功か」という嬉しいニュースも聞かれるので、今後に期待したいところです。

さて、香川県助産師会の事業の進行状況ですが、毎年実施している「いいお産の日」記念事業は、中・西讃地区でイベント開催にむけ準備を進めておりました。しかしCOVID-19の関係で集合型のイベントは中止し、助産師の活動紹介や育児で不安を抱えているお母さまに向けた、記念誌発行と動画配信に活動内容を変更しました。中・西讃地区の実行委員の皆様には多大なご協力とご尽力をいただき、心より御礼を申し上げます。記念誌はこのトラウベ通信とともにお送りさせていただいておりますので、ご高覧いただきぜひ皆様の活動にお使い下さい。様々な部署で使えるよう事務所には多数用意しておりますので、お申し出ください。また動画はyoutubeチャンネルを開設しましたので、HPからでも香川県助産師会で検索していただいてもご覧いただけます。「こんな動画があったらいい」というご意見も頂けると有難いです。さて、今年出来なかった中国四国地区研修会は2021年10月9日(土)~10日(日)に延期開催になりました。高松駅前のかがわ国際会議場で実施しますので予定を空けておいて下さい。来年こそは開催できるようCOVID-19の終息を祈っていると



日本助産師会の動向では、4月1日号でご紹介した産後ケア実務助産師研修で20名の会員が認定されました。中国四国地区では香川県の認定者は最も多く、会員の皆様の熱意に感謝いたします。また、例年2月初旬に全国的に安否確認訓練が行われるので、災害対策員会では連絡網の見直しなどを現在行っているところです。開催時にはご協力をお願いします。そのほか来年4月から日本助産師会の会員管理がクラウド化され、マイページを開設できるようになります。詳細については雑誌「助産師」などでお知らせがあると思います。

今年も残りわずかです。少しでもポジティブな状態で新年を迎えられるようこの1年を見直し整理ができるといいですね。良いお年をお迎え下さい。



## お知らせ

◎令和2年に香川県で中国四国地区助産師研修会が開催予定でしたが、コロナウイルス感染拡大の影響により令和3年に延期することとなりました。10月9日(土)10日(日)かがわ国際会議場で開催予定です。

ご協力よろしくお願いたします。

◎次回すこやか会は2月14日13時30分より岡田コミュニティセンターで行います。

## いいお産の日イベント 今こそ「あなたのそばに助産師がいます」 いいお産の日活動報告：鈴木佳奈子

2020年は、感染拡大防止のための人々の行動変容とともに、私たち助産師の活動にも大きな変化が求められる年になりました。

いつもなら6月には東西の実行委員会が立ち上がり、11月に向けて準備を進める「いいお産の日」。イベント型の開催に対する不安と、それでも妊産婦さんや子育て家庭のためにできることをという思いで、実行委員からはさまざまな意見があがりました。

結局、今年は西会場の実行委員が2つのグループに分かれ、今だからこそ“助産師はいつもあなたのそばにいます”のメッセージを形にしようと取り組むことになりました。

ひとつは紙媒体の「特別号」として、当会の事業の中から、ほっと相談室や赤ちゃん訪問の紹介などを通して助産師の活動について知っていただくページと、ほっこりなごむ素敵なコラムやお役立ち情報をぎゅっと1冊に詰め込みました。出来上がってみるとカラー刷り8ページの読み応えのあるものに仕上がったと思います。（誤植により、関係各位へ多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。）

そしてもうひとつ、新たな取り組みとしてチャレンジしたのが動画による情報発信です。Zoomを利用したオンライン委員会も行き、メンバーの意見交換をもとに、いくつかの動画を製作し、youtubeチャンネルを開設しました。（モデルとしてご協力くださったママと赤ちゃんに、この場を借りて御礼申し上げます。）

いずれも新たなチャレンジと試行錯誤により、皆のアイデアが一つ一つ形となって、結果的にはいつものイベントとは一味違うアプローチで県内のたくさんのママに届くのではと感じています。

どんな状況でもできることを模索する、さぬきのサンバのエネルギーをあらためて感じつつ、今年のいいお産の日の活動報告とさせていただきます。

※“特別号”は香川県助産師会HPで全編(PDF)を掲載予定です。 Youtubeチャンネルはこちらです⇒



## トピックス1 香川県内の各施設のコロナ禍の立ち会い分娩について 報告) 勤務部会長 多田鈴子

新型コロナウイルス感染症の影響から香川県内の分娩の状況も大きく変わってきています。その中で各施設の立ち会い分娩の状況について報告します。

○高松市民病院：立ち会い不可。医師からの指示があれば陣痛室までは可（例えば産婦が未成年、既往疾患のある方など）。病棟面会も不可。

○森産婦人科：全面的に面会禁止。リモートのみ。完全無痛計画分娩なので産婦に余裕ある為リモートで十分家族とのコミュニケーションが取れている。

○こどもとおとなの病院：妊婦さんに対して二人まで、2時間の付添いが可能。立ち会いする場合は分娩が近づいたら呼んで分娩室に入室可能。ただし、四国外から来た人、四国外の人と濃厚接触がある場合、風邪症状等がある人は入室不可。検温・マスク着用を実施。リモートはしていない。

○厚仁病院：夫か実母（状況により実母以外）いずれか1名、分娩が近づいたら入室してもらい立ち会い、産後2時間程度一緒に過ごす。2週間以内に県外に出ている人や発熱・風邪症状がある人は入室不可。

○よつばウィメンズクリニック：立ち会い不可。分娩経過中に本人が様子を伝えてもらえるようならしてもらう。リモートした方もいるが、今までそれほどいない。分娩終了後産婦が連絡、病室に帰ったところで面会に来てもらう。面会時間は30分まで、同じ人をお願いしている。

○回生病院：陣痛の付添いおよび立ち会い1人のみ、途中交代不可。短時間で。つまり陣痛の弱い場合は付添いは遠慮してくださいとお願いしている。面会、付添い、立ち会いは2週間以上県内滞在者に限る。2週間以内に県外に行った、イベントに参加した人は県内在住であっても不可。体調悪い人は不可。マスク着用し分娩室では袖付きのビニールエプロンを着用し手指消毒を実施。

○谷病院：待機という形で1～2名（夫・実母・義理母）分娩室入室可。県外の人不可。産後2時間までいられる。それ以降の面会は不可。リモートはしていない。



## 研修会報告 「ウイメンズヘルスケアに活かす東洋医学」に参加して 報告) 城下利香

助産師×東洋医学の取込みについて刺激を受けたのは、県看公助科時代に遡ります。授業の光景や資料内容、実習場で産痛緩和に取り組む学生の自分が、約40年の時を超えても鮮明に映し出されるのは、それだけインパクトが強かったのだと思います。現代では、基礎助産学の授業構成の一つ、母子と補完代替医療として成立しています。



今回は、日頃よりぼっこ助産院で助産師&鍼灸師として実践されている松尾真瑠先生のご講義でした。陰陽五行論という東洋医学特有の概念からはじまりましたが、宇宙論的な自然現象の捉え方に一瞬戸惑いました。私達は、日常、「客観的情報は何処」「そのエビデンスは何」と問い質され、システムティックに頭脳が動くように訓練されています。それにも気づかれた先生は分かりやすい言葉で陰陽論・五行論、人の体の変化、病因論について説明してくださいました。次に東洋医学的アプローチとしての四診法について説明がありました。とても独特な診察法であり、特に舌の観察には驚きでした。

次に、助産師が助産技術に応用できる東洋医学としての鍼灸治療（ツボ療法）は、①つわり、②骨盤位、③和痛分娩、④乳汁分泌不全、⑤妊娠中の腰痛、などである」とあるように、妊娠・出産・産後に使えるツボとして、頭部、眼部、耳部、下肢についての説明がありました。また、会場でのお灸の体験演習もありました。会場内には先生の包み込むような柔らかなお人柄に癒され、心地よいリラックス感が漂い、コロナ禍の独特な緊張がほぐれて幸せな気持ちになりました。日頃の先生の助産実践の様子が脳裏に映しだされ、ケアを受けてリラックス感に浸るお母さまの感覚さえ感じ取ることができました。

数年ぶりに地域助産師として復帰した今、マタニティサイクル期で毎日奮闘されているお母さま達の良き応援団として、身体やこころに優しいホリスティックな助産技術を提供できるようにこれからもずっと研鑽していきたいと思いました。こころ温まる講義どうもありがとうございました。

参考文献：1) 助産学講座3 基礎助産学〔3〕母子の健康科学 医学書院 P170～P190 (2016)



## トピックス2 第8回新胎児学研究会 シンポジウム 「胎内環境を考える」 報告) 真鍋由紀子

「子宮内環境は育てにくさに影響するのか」という内容で九州大学大学院医学研究院保健学部に教授である諸隈誠一氏が講演された。



「育てにくさ」とは手のかかる子どもに相当するもので、子育ての難しさや心配などを感じる心境を表現したものである(Thomas, Chess の分類 1968)。健診時の「育てにくさ」に関する質問の調査では6～7か月健診と9～10か月健診で約30%が「育てにくさ」を感じている。その内容で多いものはよく泣く、なかなか泣き止まない、夜泣き、夜寝ない、抱きにくい、新しい環境になかなか慣れない、落ち着きがないなどである(前川喜平・秋山千枝子)。「育てにくさ」を感じる原因はどこにあるのだろうか、とすると遺伝的要因・個性・親の育て方に答えを求めがちである。

神経機能にみられる「ゆらぎ」は環境への適応に必要で、「ゆらぎ」の低下は適応の反応や適合不全、ホメオスタシス維持に必要な神経機能リズムの障害を引き起こす(Gammaitom. RevMod Phys1998)。「ゆらぎ」の低下が胎児期から存在すると仮定すると、ストレスに対して適度な反応を示す可能性があり、生後においても適応不全を示す可能性がある。臨床では健常性を胎児心拍パターンにより評価している。胎児心拍パターンが異常の場合は低酸素・酸血症を呈している場合が多いとされる。しかしながら偽陽性例が多く偽陽性発生原因は不明である。

研究では偽陽性例の中に、分娩ストレスに対して過度に反応している症例が含まれている可能性があるとして仮定し、胎児機能不全偽陽性例の1ヶ月時調査を行った結果「よく泣く」「泣きやまない」との関連を認めた。このことから通常では異常パターンを引き起こさない分娩ストレスに対して異常と診断される心拍パターンを呈した、すなわち過剰な反応を呈した児が含まれることが推測された。胎児機能不全偽陽性であった症例が有意に「育てにくさ」と関連したことから胎児期に「育てにくさ」の要素が形成されていることが推察される、ということであった。妊娠期に携わる助産師として妊娠中の母の平穏が保たれるような支援が求められている。